

「停電事故に関する申し入れ」

すべて責任は社員の責任だけか？！

11月12日、大阪仕業検査車両所で停電事故が発生しました。担当社員の勘違いにより EGS を誤投入したため発生した事故です。

この事故の要因は担当社員の確認不足が原因ではありますが、これがすべてではありません。そこに至るまでの社員の身体的な疲労や精神状態が解明されず、ただ社員の単純なミスだけの責任となっています。

この事故による対策も検査担当者に対しての確認や喚呼を増やし、今まで以上に管理者による監視体制を強化するのみとなっています。

今まで幾度も同じような事故が発生していますが、その都度、チェックや喚呼が増えています。また、今月から増えた要注意点検事項も覚えなくてはならず、現場社員はその対応に追われ、余計に疲れ、注意が散漫になり今回の事故が発生した可能性もあります。事故の再発防止には設備面での対策も必要です。

また、復帰訓練にしても机上のテストに合格しているにもかかわらず、再度テストをさせられています。さらに現車訓練では、訓練用に電車を確保せず、仕業検査を行っている電車に便乗して訓練が行われました。仕業担当者も工作中、気になってしかたありません。

分会はこのような問題を明らかにし、今後事故を起こさないためにも「申し入れ」を行い、本当の意味での対策ができるようがんばっていきます。

下記の内容を申し入れました。

- 1、 机上テストを合格したにもかかわらず、なぜ二度目の机上テストさせたのか明らかにすること。
- 2、 現車訓練時、訓練用の電車を確保せず、仕業検査中の電車に便乗したのか明らかにすること。
- 3、 仕業庫内で EGS 誤投入しても停電にならない設備を設けられたい。
- 4、 ただ喚呼や要注意点検事項ばかりを増やさず、精査し有効な喚呼等のみにされたい。
- 5、 担当者社員の精神的プレッシャーとなりうる標準化点検や声出し点検はやめられたい。